

E. coli由来アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1094

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アスパラギン酸トランスアミナーゼ (AST)、別名アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼは、一般的にSGOT (AspAT/ASAT/AAT) または血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (SGOT) として知られています。これは、ピリドキサルリン酸 (PLP) 依存性のトランスアミナーゼ酵素 (EC2.6.1.1) です。ASTは、アスパラギン酸とグルタミン酸の間で α -アミノ基の可逆的な移動を触媒し、そのためアミノ酸代謝において重要な酵素です。ASTは肝臓、心臓、骨格筋、腎臓、脳、赤血球に存在し、肝臓の健康の指標として臨床的に一般的に測定されます。

別名 アスパラギン酸トランスアミナーゼ; AST; アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ; sgot AspAT; ASAT; AAT; 血清グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; SGOT; ピリドキサルリン酸 PLP依存性トランスアミナーゼ酵素; EC 2.6.1.1; 9000-97-9; グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ; GOT

製品情報

由来	大腸菌
形態	液体
EC番号	EC 2.6.1.1
CAS登録番号	9000-97-9
分子量	~ 45.7kD
活性	~ 180 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 8.5および25°Cの条件下でNADHの存在下で、1 μ moleの α -ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に交換するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C